

平成22年度キャンパスミーティング(全学会議)の議事内容等

この会議は事前に学生のみさんから提出された「もの申すシート」の意見等を基に構成された会議です。

会議内で説明, 質疑応答があったものについては, できられており, なるべくテーマ毎に分けて掲載しています。

時間の都合上, 会議内で取り上げきれなかった意見等の回答を掲載しています。

キーワードと思われるものについては, **ピンク色**で表示してあります。

教務課回答分 (意見, 質問等の件数が多く, 似通ったものが多数あったので, 整理のうえ, 回答のみを掲載。)

授業に関すること

授業の改善について

岩崎理事 説明

Q. 授業や教育実習など現場で役に立つ授業をもっとやってほしい。

A. 個々の授業改善についてはアンケートを実施し, 教育大学にふさわしい授業, シラバス, 授業題目, 目標, 内容が合っているかをチェックしている。また, 全てが明日に役立つハウツーものでよいのか, 本質的なものを含めて検討しなければならない。

授業関連として個々の授業内容・授業運営・授業方法等(特に教員養成大学として)の改善要望が寄せられました。このことは真摯に受け止め, 改めて教員全員に対して責任を持った授業内容・指導等のお願いをします。また同じ授業科目(題目)で担当教員での差についてはGPA(1)導入後, 特に受講する際に選択の権利がないのに, たまたま指定された教員によって差が生じているのが関係委員会で問題にされているところではありますが, 現在のところ授業担当者間で調整してもらうように依頼していますが, 決定的な打開策を行っていません。今後もう少しずつでも改善に向けて努力していきたい。

(1) GPA...「Grade Point Average」。各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のこと, あるいはその成績評価方式のことをいう。

カリキュラムに対する要望及び質問について

岩崎理事 説明

A. カリキュラムの要望をいくつかもらった。現在, 初年次教育に取り組んでおり, 共通科目の改編についても検討中である。FD(2)をしながら進めていきたい。

Q. 指導案づくり, 模擬授業を授業に取り入れてほしい。

A. 実践的な部分を強めるようなカリキュラムを大学改革推進委員会で検討したい。

大学全体のカリキュラム等に対する要望については, 大学改革推進委員会で大学が目指す方向等について検討しているところですが, 今後, 具体化する授業科目設定等の中で, 要望の授業が開かれるよう検討していきたい。なお, レポートの書き方等の基礎的なものについては, 開設を検討している初年次教育の中の一つとして考えていく方向である。

(2) FD...「Faculty Development」。大学教員の教育能力を高めるための実践的方法

質疑応答

学生

社会科では小中高の免許が取得できるが, カリキュラムの質問がしたい。

「地歴」「公民」の免許は, 原則両方は取れないが, 授業の取り方によっては取れてしまう。

しかし, 法経社では公民しか取れないので, 人が集まらなくなかないか。

岩崎理事

4つの選択に分かれる。高免全部取るには相当の単位数が必要。それぞれの学習の積み重ねの延長線上で取得できる。当初の考え方はどちらか一方の取得を想定してカリキュラムは組まれている。「公民」しか取れないから人気なくなるといふ考えはどうか?

学生

単純に制約を受けてしまう仕組みはどうなのか? あくまで教員養成課程で免許がほしい人は多数いると思う。

岩崎理事

免許が多くあるからよい先生とは限らない。

学生

1種類の原則があるならば貫いてほしい。コースの選択によって2種類と1種類の差ができるのは大きな問題である。しっかりカリキュラムを組んでほしい。

教員の遅刻について

教員が遅刻して良いということはない。教員全員に対して授業時間遵守及び遅刻学生に対する公平な扱い等をした上で授業を行ってほしい旨の周知徹底を図りたい。

授業時間の延長について

たまに定刻に授業が終わらないで延長することは教育への熱意で生じるが、毎回は熱意だけの問題ではない（単元授業の組み立てができていない等も考えられる）と思われる。次の時限への影響等もあるのでできるだけ時間に終了するように周知していきたい。

学生の授業履修態度について

岩崎理事 説明

- Q．授業中にうるさい学生がいて、集中できない。
A．教員側もしかることが必要で注意してもらおうようお願いする。

村松理事 説明

- Q．**授業中のマナー**の悪さを見ると「この人たちと将来、同僚になっていくのか」と思うと憂うつになる。
A．授業担当教員が注意をしたり、学生がお互いに注意しあうことが必要である。

授業を受ける学生側としても、他人に迷惑を掛けないように受けてもらいたい。なお、教員に対しても授業中騒がしい学生にたいしてキチッと対応して授業を行うように周知していきたい。

成績提出について

岩崎理事 説明

- Q．成績評価を出されていないことがある。
A．わかり次第対応したい。疑問があれば担当教員へ申し出てほしい。非常勤講師については教務課に申し出てほしい。

単位の厳格化と成績提出についてお願いしているところではありますが、今後はもっと厳しく周知徹底を図っていききたい。

カンニングについて

岩崎理事 説明

- Q．カンニング行為、レポートの盗作行為がある。
A．いずれも処罰の対象となる。そういうことをさせない環境を整えることも必要。きちっとした体制をとるように注意喚起していく。

昨年前期でカンニングが発覚し、懲戒処分「訓告」と併せて、前期分の単位が抹消される処分がありました。今後教務企画委員会を中心に定期試験等においてテストの厳正化を図るとともに、各教員に対して周知徹底を図っていききたい。

遅刻について

岩崎理事 説明

- Q．遅刻は何分までなのか明記してほしい。
A．時間を明記したものはなく、定刻を過ぎたら遅刻となる。

遅刻は欠席扱いではありません。ただし、何分まで遅刻を認めるという明確な時間は大学として定めていない。

授業評価について

学生による授業評価をしているが、新たな授業評価をすべきであるという意見か判断が付きかねる意見があった。今年度は専門科目（S・MS）の授業評価を行うことになっている。なお、授業評価の結果は本学ホームページの旧教育創造センターで公表しているので確認をしていただきたい。

履修選択について

質疑応答

学生

授業の取り方を選択することについての疑問。同じ時間に同じ科目が開講されている時、奇数・偶数で強制的にクラス分けされる。シラバスを読んで決めたいのに所属科によって分けられてしまう。

岩崎理事

人数について一定の上限を決めている。授業が実施できるようにクラス分けをすることは運営上やむを得ない。シラバスを見て受講できれば理想であるが、全面的に希望に沿うようにはいかない。

学生

受けた講義を受講できるのが大学と思っていた。良い先生に当たれば良いが、はずれた場合はモチベーションが下がる。シラバスで前もってクラス分け等の説明があると良い。
また、E選の科目について前期2コマのどの授業も取れず後期へ回されることがあるなど厳しい部分が多い。開講回数を増やすなどしてほしい。

岩崎理事

申し訳ない。良い授業をしてもらうようお願いする。

(受講枠から)あふれてしまうことについては具体的にコマ数を増やすなどの対処について考えたい。

共通に履修する科目の殆どは受講指定状態で選択科目の一部が履修選択制の状況であるため、選択制の幅を広げるべきということが関係委員会で話題にはなるが、大学の学生組織・教員組織や施設等の関係で選択制の幅を広げることができない状況になっている。

就職活動等における**授業欠席**について

岩崎理事 説明

Q. 就職活動で欠席する場合は、どこまで認められるのか。

A. 良識の範囲内と思うが、対応は各担当教員の判断となる。

就職活動等による授業欠席した場合の対応は現在のところ大学としての考慮は考えていない。対応は各教員の判断に委ねており、事前に担当教員と相談するようにしていただきたい。

教務課に関すること

窓口対応について

岩崎理事 説明

Q. 窓口の人の名前がわからない。どの人が何の役割なのかカウンターで分かるとよい。

A. 工夫してどの人が何の役割なのかわかるようにしていきたい。

Q. 態度が冷たい。

A. 職員研修の場で好感を持たれるようにしていきたい。

教務課の特に窓口対応職員の個々に対して要望が多く寄せられた。これらの要望に対しては、以前より改善に向けて努力しているところである。ただ窓口業務として期限がある提出物に対して、期限が守れない学生や、教員からの成績の提出遅れ等も多くあり、板挟み状態の中で、対応することは大変なことであることも理解していただきたい。その中で改善を図れることは行っていくので理解と協力をよろしく願いたい。

学務ネットについて

質疑応答

学生

7月7日のキャンパスミーティングが何時から開催なのかをHPで確認したら昨年(2009)の情報しか掲載されていない。WEB制度が充実していないのではないか。

岩崎理事

今後気をつけたい。

学生

学務ネットの各種連絡について、過去に遡ってバックナンバーの情報がない。

教務課

ログインして10件程度が表示され、お知らせはトータル50件程度。3月末までのものは削除したが、4月以降のものは残っている。データにたどり着けるはずなので詳細について後日報告したい。

学生

学務ネットでの連絡についてコンピュータ環境が個人的に整っていないので、学内LANを利用している。週1回コンピュータ情報教育入門で学務ネットを確認している。携帯には届くようにしてある。学務ネットに連絡事項は一元化すると聞いた。介護等実習の大事な連絡が入ってくるので、学務ネットだけでなく掲示板でも残してほしい。

音楽棟を生活の拠点にしているので第一共通棟の掲示板を見ることを日課にするのは難しい。

教務課

パソコンでどうしてもやらなくてはならない時は教務課に6台常設してあるので、利用してほしい。携帯サイトでお知らせ情報が見られるようになっている。方法は教務課に来てもらえば教えたい。

学生

音楽棟にもLANがあればありがたい。

教務課

セキュリティの問題がある。

学務ネットを利用したメール等についても多く要望が寄せられた。学務ネットの活用は学生への利便性を目的として利用を図ってきたところである。まだまだ改善を図りながら利用を進める方向は変わらない。しかしながら、メールが授業中に届く・メールの掲載方法等についての指摘はメール発信者の対応で改善可能と思われるので確認して改善を図ってきたい。なお、設備整備に対する要望については改善を図っているところではあるが、情報管理面や整備費等により、直ぐ対応をしていくと言えないところもあることは理解していただきたい。

昼休みについて

岩崎理事 説明

Q．昼休みの時間に利用できない。

A．昼の休憩時間については、全学一斉に休憩しており労働者の権利でもある。12時45分以降は勤務となるので利用してほしい。

教務課に対する勤務方法等への提言、感謝している。言われていることについては問題意識をしているが、労働基準の問題等色々であり、その中で昼休みを12時45分までにして45分から対応している。多少不都合があるようだが御理解願いたい。

各通知について

岩崎理事 説明

Q．集中講義・休講等の日程通知が遅い。

A．届けがあればすぐ通知している。

シラバス・集中講義等の日程通知が遅いということだが、集中講義・休講は届出があればリアルタイムで通知している。教員に対して関係委員会等を通じて早めに届出してもらえよう依頼しているところである。またシラバス・介護日程については関係委員会の審議等も含めて少しでも早く通知できるよう努力をしているところは御理解願いたい。

音楽棟への掲示依頼について

音楽棟への掲示については、確かに音楽等に掲示をすれば音楽科の学生さんには都合よくなるが、そうなると障害児教育棟・総合科学棟等にもとなる。そのことは、大学としては学務ネットへシフトしていく方向であることから掲示は必要最小限にしたいと考えているので、多少の不便を与えているが御理解をお願いしたい。なお、音楽棟の学内LANについては、要望があることを担当へ知らせしておくこととする。

教養科目のガイダンスシステムについて

教養科目のガイダンスシステムについては、教養科目全体の改善が現在進められているので、その改善を見ながら考えたい。

介護等体験のガイダンスについて

資料は読んでもらっていると思うが、現実には指定されたことができないことが多い。そのようなことの改善のひとつとしてメモを取り、レポートを課している。なおレポートは改善に役立っている。騒がしく聞こえなかったことについては今後注意していくが、時間制限の中で行わなければならないことも理解願いたい。

介護等体験の実習先について

岩崎理事 説明

Q．介護等体験の実習先が遠いところになった。

A．体験先、日程は県の団体から示され、その割り振られた施設に割り振るため、全員が納得するように割り振ることは難しい。

介護等体験の実習先の決め方について、体験先・日程は愛知県の団体から示され、その割り振られた施設に割り振るため、皆さんが納得いく割り振りができない状況であり、特に大学周辺に下宿している学生は多く岡崎・安城等に配当せざるをえない状況であることを理解願いたい。

人数の多い授業の教室変更について

人数の多い授業の教室変更については、共通棟の授業数等の関係でなかなかスムーズにできない状況である。

副免実習の実習校種について

前期副免実習の実習校種で高等学校は現代学芸の学生が優先される旨の指導を受けたことについては、事実であれば申し訳ない。中学校課程の隣接実習は、履修の手引き等で示しているように小学校または高等学校であり、現代学芸課程が優先することは示していないので、そのように指導することになっており、そのことの確認をしておく。ただ、附属高等学校の受け入れ条件により受け入れられなくなる場合はある。その場合は小学校実習になる。

共通棟に関すること

岩崎理事 説明

Q．第一共通棟が臭い。
A．フローリングのカビが原因なのかもしれない。一度チェックしたい。

エアコンについて

岩崎理事 説明

Q．エアコンの使用については開始時期が決まっているのか。

A．共通棟のエアコンに関する要望が多く寄せられたが、エアコンは一定の気温及び湿度の上昇で使用可能となっていて、7月1日以降でないで使用できないわけではない。

共通棟のエアコンに対する要望が多く寄せられた。まず大学の冷房計画及び省エネルギー対策として、冷房期間は7月1日～9月10日（上記以外の期間において著しい気温及び湿度の上昇等により講義室等必要な場合においての対応は可能とする。）・冷房時間は9時～16時30分・冷房中の室温は28℃以上に調整し、部屋を離れる場合は、必ずスイッチを切るものとする。になっている。共通棟の冷房は、室温設定26℃に設定し、要望により冷房期間より早く冷房をいれ対応している。なお、16時30分以降の対応については検討させてもらう。

においについて

共通棟の要望で次に多く寄せられたのは「臭い」ということでした。臭い原因が何かの一つとして考えられるのは、机の中に昼食等の残り物を入れ放置されていることが考えられます。これについては、学生自身がそのようなことをしないようにしてもらいたい。要望のゴミ箱の蓋を付けることについては、そもそも生ゴミを捨てることは想定されていない。まずは学生諸君のマナーを期待する。それ以外に共通棟改築後臭いと感じる人がいるようですので、この点については確認し、対応できるものであれば対応していきたい。

質疑応答

学生

共通棟の臭いの苦情についてですが、設備的な原因ではなく、狭い教室に学生がたくさん入っているので臭いのだと思う。消臭対策が必要である。

現時点でも先ほどの要望の共通棟が汚い・臭い等があり、まず皆さんが共通棟をキレイに使うようにしてもらいたい。なお、共通棟は飲食禁止であるが、昼食等の場所の確保等を考慮して認めているものである。その辺を理解して頂きたい。

自販機設置の要望について

共通棟に自販機等を設置してもらいたい要望については、過去に共通棟にウォータークーラーが設置されていたが、大腸菌等の衛生面で問題があり撤去した経緯がある。このようなことから維持管理・衛生管理・設置上の問題等を考慮した場合現時点では設置は考えていない。

机の落書きについて

机の落書きは目に余るものがある。それを消してほしいということだが、その前に皆さんが机を大事にして書かないようにしてもらいたい。

リラックスルームについて

リラックスルーム（リフレッシュスペース）横の鏡とかがあるスペースは必要かだが、共通棟を改修する際に色々と考えてリフレッシュスペース等それまでに無い空間を設置した。その中の鏡とかがあるスペースは利用されないスペースになっている。その現在の様子からは、確かにご指摘のように必要がないと判断をせざるをえない状況である。

トイレについて

トイレの擬音装置「音姫」の件ですが、共通棟トイレの以前の改修の際、学生からの要望があり「音姫」を設置いたしました。今回の改修では必要が無いとの判断等により、設置しませんでしたので、以前のものが残っている状況です。あればと思われる方は是非あるところを利用してください。

その他

2年生用のロッカーの要望について

2年生以上のロッカーは各専攻・選修等で用意することになっていますが、大学全体や個々の専攻・専攻等の事情もあり整備されていない所があるようですが、まず何処が整備されていないかから確認させていただきませう。ただし、整備をどうするかは今後の課題とさせていただきます。

講堂での説明会について

講堂での説明は取りあえず話しをしたという進め方については、説明者に対して理解してもらえよう努めるように指示します。騒がしい学生は他に迷惑がかかるので静かにするよう注意もお願いします。

入試課回答分

村松理事 説明

Q．入試課の人たちが冷たかった。

- A．丁寧かつ平等に対応していきたい。
 Q．教員採用試験で面接が重要視されているのに、なぜこの大学に入る際はないのか。
 A．一般入試については、面接を課したとしても約1,500人の受験生がいるので一人10分としても時間的にかかりすぎて困難である。なお、推薦A、Bの入試については面接を課している。
 Q．来年から情報科の入試はなくなるのか。
 A．平成23年度入試については募集を行う。

今後については、大学改革推進委員会において検討されている。

質疑応答

教員

情報の入試については、来年はあるが再来年はないことを言うべきである。

学長

原則は承認されている。現在の初等と中等は大学の方向としては平成24年度から新しい教育組織となる。既存の組織は、学生が卒業するまで不利益を受けることはない。初等の情報は廃止され、ICT(3)教育に関する新しい組織にする。大学の組織全体の改革を大学改革推進委員会で審議し、教授会に提案している。全学会議では決定権はないが教育研究の一層の充実を図るため、こうして協議していきたい。

(3) ICT...「information and communication technology」情報通信技術。

学生支援課回答分

村松理事 説明

- Q．学生支援課の昼休み時間が、学生の昼休みと一緒にならないようにしてほしい。
 A．緊急の用件には昼休み中でも対応している。
 Q．放置自転車のエコライドシステムについては、利用できる数が少なくなってきた。
 A．使用後返却せず放置をしたり、パンク等不具合があっても大学に返却せず放置されているものがあり、その結果、利用可能台数の減少をきたし、利用したい学生が利用できなくなるといった状態があるので、今後、対応策を検討したい。
 Q．ハンズや自然科学棟、音楽棟前の道でスクーターや自転車の通行を認めないでほしい。水曜日の午後、サークル活動の関係者と思われる人たちの車が講堂前、正門、グランド付近で駐車して立ち話をしている通行に危険である。
 A．実態を確認した上で、バイク等の乗り入れ規制について検討したい。
 Q．非常時の避難経路や避難場所はどうなっているのか。
 A．学生全員に配布している「地震防災ハンドブック」に掲載されているので確認してほしい。
 Q．寮の改修工事について、もっと寮生の意見を聞いてほしい。
 A．そうしたい。改修は学生のために行っていく。学長、施設課、学生支援課、寮長等で話し合っていく。
 Q．附属屋の洗面所等の使い方が汚い。
 A．関係者に注意したので、今後、改善の状況を確認したい。

質疑応答

教員

学生を預かる教育組織として毎年困っていることがある。学生の情報が遮断されていることだ。昔はカードがあった。学生が授業中に病気になっても家族に連絡がとれない。

名簿も個人情報なのでという理由でもらえない。さらなる学生支援をということと矛盾する。

村松理事

個人情報保護の問題もあり、学生の了承を得て、学生支援課で連絡先一覧を作成している。

教員

大学でやっているなら一元化して教室へ配布すべきではないか。

学長

ルール作りを含めて、どこで折り合いをつけるか担当者間で検討してほしい。

授業料免除等について

Q．成績優秀者に対する授業料減免及び奨学金授与の制度を作ってほしい。

A．法人化後、毎年1%の効率化係数により年々大学の予算が減額されており、大学独自の制度の創設は困難な状況である。

学生生活について

Q．土曜日の大学会館利用がICカードのセキュリティで不便なので、人数分のカード又は学生証で入館できるようにしてほしい。また、ガスが使えず湯が沸かせない。

A．経費の都合で管理人を措置できなくなったことに伴い、ICカードによる入館制限を行っております。ICカードでは、個々の学生に個別の日時で入館管理を行うことは困難であり、利用者には不便をおかけしますが御協力をお願いしたい。

なお、大学会館の利用に際し、飲食は、原則として認めていない。

Q．土曜日、大学会館が暑すぎて部活に集中できないので、何とかしてほしい。

A．経費節減のため、土曜日はエアコン使用を認めておりませんが、利用の内容によっては、制限を緩和することもあるので、個別に相談願いたい。

Q．入構許可証を出しただけで警告書を貼られ、許可証を持っていない人と同じ扱いなのはおかしい。

A．許可証の出し忘れについては、後日、学生支援課に許可証を提示すれば、警告はクリアされる。

Q．車両登録料2,000円が納得できない。

A．入構車両登録制は、無秩序な車の乗り入れの制限を目的として行っている。

なお、入構許可証発行手数料2,000円の用途については、毎年度末に報告している。因みに、21年度の学生車両に係る手数料は、2,778千円。用途は、南門・附属高校西側の駐車場のアスファルト舗装の費用(13,965千円)の一部に使用した。

Q．教室に団体がいきなり入ってきて、部屋を使用するからといって追い出される。予めメール等で周知してほしい。

A．授業以外で教室を使用するときは、事前に許可を受ける必要があるため、授業後は速やかに教室から退室するように願いたい。また、許可を受けた団体が教室使用のために入室したときは、速やかに退室するように願いたい。

Q．タダコピが使えない期間が長いので、早く紙を補充してほしい。

A．「タダコピ」は、用紙の裏を広告にすることで学生が無料でコピーできるものであり、一月に使用できる用紙枚数には制約がある。したがって、1人で多くのコピーをしないで、なるべく多くの学生が利用できるように協力願いたい。

Q．合宿所の畳が新しくなったが、蟻などの虫が大量に入ってきた。検査してほしい。

A．確認中である。問題点が分かり次第対応したいと思っている。

クラブ活動について

Q．希望サークルでいいので、倉庫を設置してもらえないでしょうか。クラブには部室があるのに、サークルには何も無い。

A．現在、部室のあるクラブ・サークルは体育系で45%、文化系で65%である。部室の設置は予算・場所の問題もあって難しいが、クラブ用品等の物入れの設置については早急に検討していきたい。

Q．音楽活動の支援のため、水曜日の午後くらいは講堂を開放してほしい。

A．大学や附属高校の行事がある場合を除き、クラブ活動のために講堂を開放しており、現在も管弦楽団や吹奏楽団が使用している。

Q．大学ホームページにサークル紹介が少なすぎる。また、活動していない又は不適切と思われるサークルは取り止めさせるべき。

A．大学ホームページには、現在、公認団体一覧を掲載し、各クラブ・サークルのホームページにリンクする形態をとっている。ホームページ充実策や活動していないサークル等への対応については、体育会・文化会が設立された段階で、併せて検討したい。

Q．部活動の遠征費の負担をしてほしい。

A．後援会員に対しては、遠征に必要な交通費や宿泊費の一部を後援会から援助している。

Q．クラブハウスの電力が頻繁に落ち、ブレーカを戻すため、他のクラブハウスに入らないといけなくて、対策願いたい。

A．クラブハウスの電気容量は、4～5棟(16～20室)で60Aであり、消費電力の大きな電気機器の使用を想定していないので、注意願いたい。

なお、ブレーカの移設や電気容量の増大工事には多額(全棟で300万円程度)の費用が必要となるので、すぐに対応することはできない。

Q．水曜日の午後、講堂前がサークル活動のために駐車する車が多く危険なので、規制してほしい。

A．今後、実態を確認した上で対応する。

Q．部室の出入りで濡れてしまうので、長いひさしを取り付けてほしい。願わくば、エアコンも・・・。

A．部室のないクラブもあり、予算の確保が困難である。エアコンの設置については、消費電力の大きな電気機器の使用を想定していないので、認めていない。

村松理事 説明

キャリア支援課関連

Q. 就職のことであるが、愛知県外の学生のサポートがなっていない。もっと、関東地方の情報を仕入れてほしい。

A. キャリア支援課に来室すれば、情報提供も含め、相談に乗る。

Q. 岐阜県の教員の就職について教えてほしい。

A. 岐阜県教員への就職状況は、平成21年3月卒業生では中学校2人、高校1人、特別支援学校1人、平成22年3月卒業生では小学校2人。教員採用選考試験要項や学内説明会もあるので、キャリア支援課へ足を運んでほしい。

国際交流関連

Q. 留学についての奨学金の種類や規模を大きくしてほしい。

A. 学生支援機構による支援や本学教育研究基金、晋州教育大学の奨学金などがある。

Q. 協定校を増やしてほしい。

A. 毎年1校ずつ協定校を増やしている。地域的に難しいところもある。

生協関連

Q. 12時には既に満席になっている。

A. 座席の回転数が短縮し、サンプルケースからレジ通貨の所要時間も15分から7.5分に改善された。座席数はもともと施設面積からすると多すぎたので40席ほど減らした。

要望については素早く伝えている。

生協回答分については、別様式にて掲載している。

総務課回答分

名鉄バスについて

折出理事 説明

Q. 愛教大行きのバスの本数を増やしてほしい。バスの運賃が高い。

A. 名鉄の営業所へ出向き、値下げの交渉はしているが難しい。

Q. 大学専用のバスを出してほしい。

A. 人件費や維持費等財源的に困難である。

Q. 三好・刈谷駅方面のバス乗り場の並ぶ場所を指定してほしい。

A. 現状を調査して表示方法について検討したい。

Q. 附属高校生の名鉄バス乗車のマナーの悪さについて。

A. 附属高校によると、苦情については、その都度全校集会やホームルームで全体に注意し、公共場所でのマナー、周囲への配慮した行動の指導をしている。今後は是非その場で注意していただき、具体的に生徒が特定できる形で教えてほしい。また、注意を受けた際の生徒の態度についても知らせてほしい。

Q. 朝、知立駅からの乗車整理を常に行ってほしい。

A. 4月の授業開始時期は、大学職員が知立駅で乗車整理を行っているところである。常に必要であるという理由が記されていないので何とも言えないが、大学としては、各自において、スムーズな乗車マナーを遂行していただきたいと考えている。

Q. 快速ならばカードを通す回数を1度にしてほしい。

A. 名鉄バスのシステム上の問題になりますが、そういう意見があったということを名鉄バスに伝えておく。

Q. シャトルバスがあるといいと思う。

A. 快速バスのことなのか。時刻によってはある。

Q. バスの最終時刻を遅らせてほしい。

A. 名鉄バスにそういう意見があったことを伝えておく。

授業料について

Q. 授業料を無料にしてほしい。

A. 保護者の収入により、授業料免除制度がある。学生支援課に相談してほしい。

禁煙ほか

折出理事 説明

Q. 全面禁煙を早くしてほしいという意見が4件ほど出された。

A. 学長が「2011年度からキャンパス内全面禁煙をめざす」ことを宣言されたことが本学HPにも掲載されている。

次の3つの観点から役員部局長会議で協議した結果の判断である。

学生をはじめ教職員の健康を守るとともに健全な環境を維持すること。

2009年度の調査によれば、4,059人から回答のあった学生の喫煙率は、学部1年生男性0.2%・女性0.0%、同2年生男性2.9%・女性0.4%が同4年生及び過年生男性15.1%・女性1.6%、と学年があがるにつれて喫煙率は上昇していること。

厚生労働省健康局長通知に「受動喫煙防止対策の基本的な方向性として、多数の者が利用する公共的な空間については、原則として全面禁煙にすべき」とあること。

Q．盗撮の噂は本当なのか。

A．把握していない。早速しかるべき手続きにより調査したい。

質疑応答

学生

制作して夜遅くなることある。帰る途中で不審者にあったが車に自分は乗っていたので良かったが、守衛に言ったところ、一人なので守衛所から離れられないと言われた。守衛を2人にするなど不審者対策してほしい。

折出理事

コストはかかっても対応する必要がある。現状を連絡してほしい。

教員

遅くまで制作をしている学生が、情報教育入門の授業で非常に疲れて出席している。学生への負担が大きすぎないか制作担当の先生は配慮してほしい。

学生

夜遅くまで制作しているのはその人の意志でやっている。自分たちがしたい研究をすることは大切であり、美術の先生が悪いわけではない。大学の予算も減っているが、大学は不審者が入りやすい環境でゴミ捨て場に大きなごみを捨てに来る学外者がいる。ベッドやテレビを運んでくる。注意してほしい。

折出理事

連携をとって対応したい。

学生

全面禁煙は賛成。第一共通棟114、115教室あたりの北側通気口のようになっていて煙が入ってくるので、対応してほしい。

折出理事

現場を見て対応したい。

学生

全面禁煙賛成だが、高校の頃教職員が正門で堂々と喫煙していた。大学も同様なことになったら見映えが良くない。対策を考えてほしい。

折出理事

注意するよう禁煙教育をしていきたい。

質疑応答

教員

もの申すシートが200枚くらい出されたと聞いた。やりとり質問者に対してどのようにフィードバックされるのか。議論は公開されるのか。

司会（内田准教授）

検討中であるが公開の方向で進めていきたい。

施設課回答分

折出理事 説明

Q．音楽棟のピアノの台数を増やしてほしい。

A．ピアノ練習室の事前確保のために、利用する必要がただちにないのに私物等を置いたまま退室するような問題がある。効率的な利用のために、注意してほしい。

Q．音楽棟1階非常口の扉からプレハブに行けるようにしてほしい。

A．非常用の扉でもあり防犯上の観点からも問題があるのでできない。

Q．演習室にエアコンがほしい。

A．講座代表に相談してほしい。

Q．屋根付きの自転車置き場を増やしてほしい。

A．今後の検討課題としたい。

Q．駐車場が足りない。

A．整備した台数分が1200台であり、登録者の60%分なので十分足りている状況ではない。順次駐車場の整備を行っている。

Q．リフレッシュスペースを増やしてほしい、駐車場から出庫する際にミラーの設置をしてほしい。

A．順次検討し着手する。

質疑応答

学生

ソフトテニス部だが附属高校側のテニスコート5面は砂が風で飛んでしまい、滑りやすくなっている。危険なので改修してほしい。

施設課

ネットを一部改修したが、今後検討したい。

学生

ウォータークーラーを設置してほしい。附属屋まできてテニスコートへ運ばないといけないので。

折出理事

野球場でも設置したが、衛生面の問題もあり撤去した。

学生

ソフトテニス部は部室がない。OBが自主的に小屋を建てて部室にした。ちゃんとしたものを設置してほしい。

学生支援課

他のクラブからも倉庫の要望がある。多くのクラブやサークルも持っていない状況であるが、検討したい。

Q. 自動販売機を増やしてほしい。

A. 大学としては、自動販売機が多ければ多いほど設置場所を貸している土地の収益が増えてよいのだが、自動販売機の売り上げ自体を考慮していないので、マーケット数およそ5000名がどのくらい購入し、どの程度収益が出そうかということが、設置者であるコカコーラやキリンの採算にあり、設置を希望すれば、所定の手続きを踏んで設置することは可能である。

ただ現実には講義室などが購入した飲食物の残骸で汚れていたりすることも多々あるようだ。

Q. 第一共通棟～生協間、美技家～音楽棟間などに屋根（渡り廊下）がほしい。

A. 渡り廊下の設置にはキャンパス全体の消防通路の確保が必要となるが、～間の渡り廊下などは将来構想など多角的な検討が必要となる。また予算の確保などの面での検討も必要であり、これらを踏まえて現在のところ計画はしていない。

Q. 陸上競技場のタータンが風化して硬くケガのもとになるので張替えてほしい。

A. 陸上競技場の改修については、予算を国へ要求しているところである。国の財政事情もあり、また大学としても他に優先する施設整備もあり、現在のところ実施時期は未定。

Q. 4限後の正門が自家用車で大混雑になっているのでバスが進まない。

A. 4限後の正門からの自家用車の制限については学務ネットでも知らせ済みである、北門、東門等からの退出に協力願いたい。

Q. 学生寮近くグラウンド側駐車場(未舗装)から出庫するときに公衆電話辺りにミラーが欲しい。この駐車場も舗装してほしい。

A. 無舗装である駐車場の整備については計画的に順次行なっていく。ミラーの設置要望などの交通に関する意見は学生支援課や施設課で随時承っている。

情報図書課回答分

折出理事 説明

Q. 図書館の開館時間を早めてほしい。

A. 平日は午前9時から、休日は午前11時から開館している。これは変更しない。

Q. 6月中旬からクーラーを入れてほしい。

A. 気温等に配慮し、適宜状況に応じて運転している。

Q. 女性専用席を廃止してほしい。

A. 過去に盗撮事件があったので専用席を設置した経緯もあり、廃止は考えていない。

Q. 学習指導要領、最新の小説や物語を置いてほしい。

A. 学習指導要領はCD版を購入したので、活用してほしい。大学図書館では学生や教員の学習支援、研究支援のために図書を所蔵する目的となっている。

附属図書館からのお願いとして、飲食禁止となっても持ち込みが絶えない。マナーを自覚し相互に協力してほしい。

Q. 無線LANを愛教大全体に飛ばしてほしい。

A. 全体となると難しいが、昨年度に無線LANを拡張できる場所を拡張した。第一人文棟・第二人文棟のセミナー室、学生会館1階ホール等でも使用できる。

質疑応答

学生

図書館のアイススペースの利用方法について知りたい。以前照会したところバックボーンになるものがないとだめと言われた。学生が普通に展覧会をすることはできないのか。

情報図書課

どういうものを受け入れてよいのか、利用の形態が当時明確になっていなかった。学生が自由に使ってもらうには公序良俗に反しなければよい。現在は概ねだれが申し込んでも使用できる。

施設課

補足として、販売を伴う場合など使用料が発生することもある。

Q. 図書館の利用時間中の清掃をやめてほしい。

A. 清掃業務の契約により8時30分からの作業となっている。図書館の面積は広く、設備（トイレなど）の全てを時間外に作業することは契約上不可能である。閉館時刻の前30分も貴重な作業時間であるが、閉館後の作業となれば深夜となるため、非現実的である。ご理解願いたい。

(学長総括)

充実した議論やディスカッションができた。役員としての回答に関連して、延べ13名の学生の方からの質問があり、教職員の質問も含め、カリキュラムにとっての色々な問題を中心に有意義な意見交換ができた。

教務課の前に意見箱が設置されており、即役員に意見の内容が届くシステムがある。その意見は個人情報の保護を考慮して対応するので、是非活用してほしい。学生の方に広くこのシステムが知られていないのは残念である。

今後、今日の回答を含めて改善を進めていきたい。昼休みの課題や学務ネット(授業中の発信は控える)、入試、学生支援、キャリア支援等について、今後検討すべきものもあり、改善に向けた努力をする。施設はリフレッシュスペース等学習環境の整備を進めてきたが、防犯カメラを整備するなど、安全安心のキャンパスづくりを進める。今まで守衛が不審者を捕らえたこともある。学習用の部屋がないなどの意見に対して整備に力を入れていきたい。

これから皆さんと一緒にキャンパスづくりをやっていきたい。

今日はいろいろな意味で学生さんと意見交換ができたことを感謝したい。

生協に寄せられたご意見に関して

2010年7月1日H
愛知教育大学生協同組合
専務理事 白取 義之

日頃、生協をご利用いただきありがとうございます。キャンパスミーティングに向けて寄せられたご意見にお答えいたします。

1 第一福利施設食堂「HANDS」について

愛知教育大学60周年及び生協創立40周年を迎えるにあたり、大学構成員の満足度を高め、大学来訪者に対し誇ることのできる食堂を創り上げたいと考え、計画・準備を進めてまいりました。

そして、生協で3,500万円の投資を理事会決定し、大学の多大な協力のもと、第一福利施設食堂『HANDS』が全面リニューアルをいたしました。リニューアルのコンセプトは以下の通りです。

愛教大のメイン食堂としてふさわしいホール環境とするため、老朽化したテーブル・椅子の更新と、床・壁の張り替え・塗装を行いました。
ホールは、用途に応じて利用できるように『ランチゾーン』『プライベートゾーン』『パーティーゾーン』にゾーニングを行いました。
ヌードルコーナーを移設し、出食のスピード化、混雑緩和を図りました。
昼休みのピークの時間帯までは、『食堂』としてより多くの皆さんに利用をしてもらえるよう出食ゾーンのワンウェイ（一方通行）としました。
ビュッフェコーナーを設置し、サラダバーや総菜バーを楽しめるメニューを拡充しました。

従来のシステムにおける最大の問題点は食堂としての席回転率の悪さでした。2009年度のHANDSの平均回転率は1.23回転です。他の国立大学の回転率が2~3回転であることを考えると、この愛教大の数値は異常です。実際に、『12時前には既に満席になっている』『それもほとんどはバッグによる席取りと食事を取っていない人で占められている』『食事を終えた人も席を譲ろうとはしない』『ピーク時間中にトランプや勉強をしている』という声をたくさんいただいていた。都度、席取りや居座りをしないように呼びかけてきましたが一向に改善は見られませんでした。『この状態』が愛教大にとって『当たり前』になってしまっていたのだと思います。

食堂としての業態、経営を維持していくためには、この問題を解決していくことが不可欠であると理事会として判断しています。当面は、現システムのもとで必要な改善を行っていきます。以下、理事会や総代会で検討を重ねてきた基本的な考え方を紹介しながら声にお答えします。

HANDSは『食堂』であり、その利用とあり方を最優先に考えること

できるだけたくさんの方がHANDSでの食事をとることのできる環境をつくることを最優先しました。『HANDSでお弁当を食べたい』との声もいただいておりますが、安全衛生面で保健所からも「本当は望ましくない」との指摘を受けており、外からの飲食物の持ち込みはご遠慮いただきたいのが食堂としてのHANDSの基本姿勢です。以上の理由から、多くの大学で採用されている、レジを通過して着席するワンウェイシステムを採用しました。

一方で、『ラウンジ』的な利用についても可能な限り配慮すること

当初は終日ワンウェイとすることも想定しましたが、昼休みの後半からはワンウェイシステムを解除し、従来通りラウンジとしての利用も可能としました。現在は昼休み時間が後半に入る12時50分を目安としていますが、運用状況を見ながら時間帯の調整（時間を早くするなど）を図りたいと考えています。

出食スピードの向上、入口の混雑について

今のままで十分とは考えておりませんし、一つひとつ改善を図っていきますが、改装に伴いピーク時間帯の出食スピードは確実に速くなっています。

入口前の列は長くなっていますが、サンプルケースからレジ通過の所要時間は、2009年は15分でしたが、2010年は7.5分に改善されています。座席の回転数も2009年の1.23回転から1.52回転に改善しています。現在、所要時間を1分短くするための方法を検討しています。当然、レジの増設や出食カウンターの増員も解決策の一つですが、いずれもコスト負担の大きい方法のため慎重に検討せざるを得ません。4月の開講時期と通常期で利用者数がずいぶん異なりますので、4～6月のデータと状況を把握しながら改善策の検討をすすめます。

入口の階段付近、福利厚生施設の入口付近が混雑しているのはご指摘の通りです。以下対策を検討しています。

- 1) 第一福利施設の入口を広げることは生協の判断ではできませんので、まずは、パーティション等で明確な導線をつくります。
- 2) サンプルケースのところで流れが止まってしまい、列が流れなくなる傾向にあります。事前にメニューを選択できるようにするなど工夫します。ちなみに、サンプルケース前でグループで固まり列の流れが止まることが多いので、誘導を設けるなどしてご協力を呼び掛けていきます。
- 3) キャンパスペイの利用促進がスピードを高めるための最大の改善策と考えます。利用促進キャンペーンなどを実施しながら協力を呼び掛けていきます。

座席数の減少について

従来424席あった座席を今回387席としました。もともと、今の施設面積に424席を配置することには無理があり、通りにくい、座りにくいという現状を生んでいました。今回の改装では

余裕のある配置にするために座席数を1割程度減少しました。配置によっては20~30席程度増やせる余裕もあります(スペースに余裕はなくなりますが)。今後の状況を見て判断していきたいと思えます。

また、食堂の利用者数ですが昨年同日比で1日当たり50~100名程度増加しており、座席回転数も1.5~1.9回転まで改善しています。『食堂でお昼を食べることができるようになった』などの声もたくさんお寄せいただいています。食べ終わった後の座席の譲り合いなど、皆さんにご協力をいただいている結果と考えています。

お弁当などを食べる場所について

HANDSだけ、生協だけで改善できる問題ではないと考えています。ラウンジ的な機能を持つ施設やフリースペースをどのようにつくっていくかを大学と一緒に検討し、生協としても可能な貢献をしたいと考えています。生協としてもお昼の実態をもとにプランを提案していきます。

ヌードルコーナーでのLサイズ、Sサイズの提供について

ヌードルの出食スピードを優先し、Mサイズの提供に絞ってきましたが、少し落ち着いてきましたので10月から提供できるようにしたいと思えます。

また、「ライスのサイズをなぜいちいち秤で測るのか。それくらい感覚で分かるだろう」というご指摘もいただきました。以前はそうにしていました。キャリアを積んで長いスタッフなら可能です。それでも「多い」「少ない」と指摘する方もいらっしゃいましたし、新しいスタッフのときはむしろ遅くなっていました。現在の秤ではかる形がトータルで見ると最も効率的だと判断しています。ご了承ください。

HANDSを食券にすることについて

メニュー数が少ない食堂であれば可能ですが、HANDSのメニュー幅を確保しようと思うと食券での運用は難しいです。アイテム数、サイズ、ビュッフェコーナー、キャンパスペイの利用など多くの制限事項が発生しています。

UPとの利用分散について

UPへの利用分散はHANDSの混雑解消のための重要な改善策です。HANDSのメニューや価格化と差別化しながら利用動機を高められるように店舗コンセプト、メニューの見直しを行っています。早ければ秋、遅くても来年の春から新しいコンセプトですすめられるように準備しています。

また、HANDSに続いてUP、ジョアンナの第2福利施設のリニューアルの検討に入ります。投資規模を考えると、生協だけですすめるのは難しいため生協としてプランをまとめ、大学とも話し合いをしながらなるべく早く新しい食堂を実現できるように努力をしていきます。その中で焼きたてパンやカフェの可能性についても検討したいと思えます。

2 価格について

『よりよいものをより安く』は生協の大切な使命と考えていますので、できる限りの貢献できるように努力をしていきます。その努力が十分ではない、というお叱りと受け止めています。

ただ、何でも安いに越したことはないのですが、赤字になってしまっただけでは生協の運営自体ができなくなってしまいます。限られた生協の予算をどのように使うかにはいろんな考え方があります。例えば書籍の割引率をあげるのか下げるのか、食堂をより安くするのか。価格よりも品揃えを充実させてほしいと思う人や、食堂なども施設改善に当てるべき、と考える人もいます。それは、組合員である皆さんが予算の枠内でどのように要望を実現させていくのかということに関わってきます。

もちろん、学生の皆さんの生活を少しでも支援するために仕入改善やコスト削減をしながらよりよいものを少しでも安く供給できるように頑張ります。実現できるものはできる限り実現していきたいと思いますので、具体的な意見や要望をぜひ聞かせてください(どのようなものを、どれくらいの値段でなど・・・)。全ての商品を一律で下げるのは難しいですが、商品を限定しながら改善していくことから始めたいと思います。また、「利用還元」の形で割引していくことも可能だと思っています。

いずれにせよ、利用が増えないと価格改善や割引の拡大は難しいのが現状です。ぜひ生協のお店や食堂をご利用ください。

3 営業時間について

朝の開店時間と土曜日の営業時間についてのご要望がありました。現在、朝は8時30分、土曜日は13:30まで営業をしていますが、いずれも赤字での営業です。利用がもっと伸びれば営業時間を延ばすことも可能ですが、8時半～9時の利用状況と授業がない日の登校率では難しいのが現状です。もちろん、『赤字でも利便性を高めるために運営すべき』という意見もあると思います。限られた生協の予算をどのように使うからいろいろな考え方がありますが、生協全体の経営と運営を視野に入れなければならない課題です。引き続き利用実態を調査し、意見を聞きながら検討をしていきます。

4 カフェについて

カフェの要望をたまにいただきますので、何度か試算・シュミレーションを行っています。

最もシンプルなパターンをご紹介しますが、「赤字覚悟でしか運営できそうもない」が結論です。

- ・喫茶店(またはカフェ)として営業をする。
- ・メニューはドリンク、デザート、サンドイッチを想定
- ・営業時間は12:00～16:00
- ・人件費は09年実績の3分の1を想定します。100万円

- ・物件費は09年実績の4分の1を想定します。46万円
(ただし、物件費の中には施設改装の減価償却費や漫画・雑誌等の消耗品は見込んでいません)
- ・平均利用単価を250円、原価率を40%に設定します。

(一般的なカフェの原価率は20~30%と言われています)

・以上の条件で考えると、年間9,733名(1日あたり64名)の来客があつて運営経費を賄える状態になります。また、このときに売上高に占めるF/Lコスト(食材原価と人件費の合計)は81%ですが、営業が継続できる適正な比率は60%未満と言われています。(そうしないと備品の購入や修繕が一切できない)コスト比率を下げるためには、売上高を上げる(利用単価を上げるか、利用者数を増やす)もしくは、人件費を削減するか原材料費を削減する必要があります。

カフェを中心にした業態で採算を成り立たせていくのはなかなか大変なことが分かります。立地がよくないのは前述の通りですが、カフェとしてドリンクやデザートをオーダーして「勉強をしたり」「友達と語り合ったり」「来客対応をしたり」そのような用途で利用する方が日々どのくらいいらっしゃるのか—カフェ業態への転換は慎重にならざるを得ません。

蛇足ですが、中京大、名城大から相次いでマクドナルドが撤退しました。ファーストフードも含め、大学内のフードサービス事業は非常に厳しい環境に置かれています。